

環境仕様

ODYSSEY



「2030年度燃費基準  
達成車」  
e:HEV ABSOLUTE・EX



「2030年度燃費基準  
95%達成車」  
e:HEV ABSOLUTE



「平成30年排出ガス基準  
75%低減レベル」認定車  
全タイプ

基礎情報	車両型式	6AA-RC4		6BA-RC1		6BA-RC2			
	原動機	LFA-H4		K24W					
	総排気量(L)	1.993		2.356					
	駆動装置	FF		4WD					
環境性能情報	燃料消費率*1	燃費(km/L)	24.4	25.2					
		CO <sub>2</sub> 排出量(g/km)(燃費からの換算値)	95.2	92.1					
	参考	2030年度燃費基準95%達成車	2030年度燃費基準達成車	2030年度燃費基準95%達成車					
		燃費(km/L)*2	20.0	19.8	20.2	12.8	12.4	12.2	11.6
		市街地モード(WLTC-L)	19.4	19.1	19.7	9.2	9.0	8.9	8.5
		郊外モード(WLTC-M)	21.6	21.4	21.8	13.4	13.0	12.7	12.1
		高速道路モード(WLTC-H)	19.6	19.4	19.8	14.9	14.4	14.1	13.3
		CO <sub>2</sub> 排出量(g/km)(燃費からの換算値)	116.1	117.3	114.9	181.4	187.2	190.3	200.1
	排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減						
		試験モード	WLTCモード						
	認定基準値(単位:g/km)	CO	1.15						
		NMHC	0.025						
		NO <sub>x</sub>	0.013						
		PM	—						
	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)			—				
	適合騒音規制レベル	平成11年騒音規制 規制値:加速走行76dB(A)							
エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFC-134a/1430*4							
	使用量	750g							
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)							
環境負荷物質削減	鉛*5	自工会2006年目標達成(1996年使用量*6の1/10)							
	水銀*7	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)							
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)							
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)							
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)							
環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	樹脂、ゴム部品に可能な限り全て						
		リサイクルし易い材料*9を使用した部品	インパネハーネス、インパネ表皮、エアフローチューブ、エンジンハーネス、オープニングトリム、カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、サンバイザー、シート表皮、シフトノブ、センターコンソール、ツールバッグ、ドアモール、ドアライニング、バンパーフェース、ピラーガーニッシュ、ルーフモールなどの内外装部品						
		再生材を使用している部品	エアアウトレット、エアコンダクト、バッテリーカバー、バッテリーボックス						
		リサイクル可能率	車全体で95%以上*10						
	環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:電子基盤、電気部品のはんだ、圧電素子等(PZTセンサー)						
		水銀	全廃済み						
	六価クロム	全廃済み							
	カドミウム	全廃済み							
その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車				—			

\*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。  
 \*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。  
 \*3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)  
 \*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。  
 \*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。  
 \*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。  
 \*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。  
 \*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。  
 \*9 この環境仕様書は2021年4月現在のものです。  
 ※写真の車両の「燃費基準達成ステッカー」と「低排出ガス車認定ステッカー」は、実際の車両には貼られていない場合がございます。また、写真上の当該ステッカーの内容は、2021年3月末時点のものです。